

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】令和6年7月29日(2024.7.29)

【国際公開番号】WO2022/035663
 【公表番号】特表2023-537885(P2023-537885A)
 【公表日】令和5年9月6日(2023.9.6)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-168
 【出願番号】特願2023-507315(P2023-507315)
 【国際特許分類】

10

H 0 4 W 7 2 / 2 3 (2 0 2 3 . 0 1)
 H 0 4 W 7 2 / 0 4 5 7 (2 0 2 3 . 0 1)
 H 0 4 W 6 4 / 0 0 (2 0 0 9 . 0 1)
 G 0 1 S 5 / 0 2 (2 0 1 0 . 0 1)
 H 0 4 W 7 2 / 0 4 5 3 (2 0 2 3 . 0 1)

【F I】

H 0 4 W 7 2 / 2 3
 H 0 4 W 7 2 / 0 4 5 7 1 1 0
 H 0 4 W 6 4 / 0 0 1 7 1
 G 0 1 S 5 / 0 2 Z
 H 0 4 W 7 2 / 0 4 5 3

20

【手続補正書】
 【提出日】令和6年7月19日(2024.7.19)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更

【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

30

【請求項1】

測位を決定するための装置であって、
 少なくとも1つのメモリと、
 トランシーバと、

前記少なくとも1つのメモリに結合された少なくとも1つのプロセッサとを備え、前記少なくとも1つのプロセッサが、

前記トランシーバを介して、好ましい帯域幅構成の1つまたは複数の指示を送信することと、

前記トランシーバを介して、前記好ましい帯域幅構成に基づく測位参照信号を含む分離した帯域幅セグメントを示す測位構成を受信することと、

40

前記分離した帯域幅セグメント内の前記測位参照信号に基づいて、1つまたは複数の測位測定値を決定することを行うように構成され、

前記好ましい帯域幅構成は、タイミング誤差許容範囲選好であり、前記タイミング誤差許容範囲選好は、異なる周波数レイヤからの測位参照信号リソース間のタイミング誤差である

装置。

【請求項2】

前記好ましい帯域幅構成は、好ましいキャリア帯域のリストを含む帯域幅組合せ選好である、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

50

前記好ましい帯域幅構成は、複数の周波数レイヤにわたるコムおよびシンボル情報を含むヌメロロジー選好である、請求項1に記載の装置。

【請求項4】

前記分離した帯域幅セグメントは、複数の周波数レイヤを含む、請求項1に記載の装置。

【請求項5】

前記複数の周波数レイヤの各周波数レイヤは、他の全ての周波数レイヤから不連続である、請求項4に記載の装置。

【請求項6】

前記複数の周波数レイヤは、複数の周波数レイヤグループを形成し、前記複数の周波数レイヤのうち少なくとも1つの周波数レイヤは、前記複数の周波数レイヤグループのうち少なくとも1つのグループと不連続である、請求項4に記載の装置。 10

【請求項7】

前記少なくとも1つのプロセッサは、基地局から、前記好ましい帯域幅構成に対する要求を受信するように構成されている、請求項1に記載の装置。

【請求項8】

測位を決定する方法であって、

トランシーバを介して、好ましい帯域幅構成の1つまたは複数の指示を送信するステップと、

前記トランシーバを介して、前記好ましい帯域幅構成に基づく測位参照信号を含む分離した帯域幅セグメントを示す測位構成を受信するステップと、 20

前記分離した帯域幅セグメント内の前記測位参照信号に基づいて、1つまたは複数の測位測定値を決定するステップとを含み、

前記好ましい帯域幅構成は、タイミング誤差許容範囲選好であり、前記タイミング誤差許容範囲選好は、異なる周波数レイヤからの測位参照信号リソース間のタイミング誤差である

方法。

【請求項9】

測位を決定するための装置であって、

少なくとも1つのメモリと、

トランシーバと、

前記少なくとも1つのメモリに結合された少なくとも1つのプロセッサとを備え、前記少なくとも1つのプロセッサが、

前記トランシーバを介して、ユーザ機器によって送信されるシグナリング考察のための好ましい帯域幅構成の1つまたは複数の指示を受信することと、

前記好ましい帯域幅構成に基づく測位参照信号を含む分離した帯域幅セグメントを示す測位構成を決定することと、

前記ユーザ機器が前記分離した帯域幅セグメント内の前記測位参照信号に基づいて1つまたは複数の測位測定値を決定するために、前記トランシーバを介して、前記分離した帯域幅セグメントを示す前記測位構成を前記ユーザ機器に提供することとを行うように構成され、 40

前記好ましい帯域幅構成は、タイミング誤差許容範囲選好であり、前記タイミング誤差許容範囲選好は、異なる周波数レイヤからの測位参照信号リソース間のタイミング誤差である

装置。

【請求項10】

前記好ましい帯域幅構成は、好ましいキャリア帯域のリストを含む帯域幅組合せ選好である、請求項9に記載の装置。

【請求項11】

前記好ましい帯域幅構成は、複数の周波数レイヤにわたるコムおよびシンボル情報を含 50

むヌメロロジー選好である、請求項9に記載の装置。

【請求項12】

前記分離した帯域幅セグメントは、複数の周波数レイヤを含み、
選択的に、前記複数の周波数レイヤの各周波数レイヤは、他の全ての周波数レイヤから不連続である、請求項9に記載の装置。

【請求項13】

前記複数の周波数レイヤは、複数の周波数レイヤグループを形成し、前記複数の周波数レイヤのうちの少なくとも1つの周波数レイヤは、前記複数の周波数レイヤグループのうちの少なくとも1つのグループと不連続である、請求項12に記載の装置。

【請求項14】

前記少なくとも1つのプロセッサは、前記好ましい帯域幅構成に対する要求を前記ユーザ機器に提供するように構成されている、請求項9に記載の装置。

【請求項15】

測位を決定する方法であって、

トランシーバを介して、ユーザ機器によって送信されるシグナリング考察のための好ましい帯域幅構成の1つまたは複数の指示を受信するステップと、

前記好ましい帯域幅構成に基づく測位参照信号を含む分離した帯域幅セグメントを示す測位構成を決定するステップと、

前記ユーザ機器が前記分離した帯域幅セグメント内の前記測位参照信号に基づいて1つまたは複数の測位測定値を決定するために、前記トランシーバを介して、前記分離した帯域幅セグメントを示す前記測位構成を前記ユーザ機器に提供するステップとを含み、

前記好ましい帯域幅構成は、タイミング誤差許容範囲選好であり、前記タイミング誤差許容範囲選好は、異なる周波数レイヤからの測位参照信号リソース間のタイミング誤差である

方法。

10

20

30

40

50